

公立学校共済組合 富山宿泊所

パレブラン高志会館/富山県富山市

パレブラン高志会館は、富山駅から程近い富山市の中心部に位置している、会議室、宴会場、結婚式場、レストラン等を併設した複合型宿泊施設です。建物の設計は、国立新美術館などを手掛けた黒川紀章氏によるもので、その立地とシンボリックな外観から町のランドマークとなっています。

本事業では、自治体と一体になって避難所の整備に注力され、災害時における「社会貢献」と「施設機能の向上」を目的に、停電時の非常用電源となる停電対応型CGSを設置しました。



パレブラン高志会館 外観

補助事業の概要

- 導入設備: 停電対応型CGS 5kW×1台
- 補助金額: 4,946千円
- 導入方式: リース方式

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

パレブラン高志会館 支配人
廣川 由多可様

当施設では、防災対策として、防災負荷（スプリンクラーや非常用エレベーター等）の電源となるディーゼル式非常用発電機を設置していました。

しかし、同非常用発電機では、一般系統の電力まで賅うことはできず、全国各地で頻発している自然災害の状況を鑑みると、宿泊利用者が災害時にも安心して施設をご利用いただくために、非常用電源を増強する必要性を感じていました。また、共済組合という組織上、運営する施設については「自治体の行政目的の実現」に資する必要があることから、非常用電源の増強にあわせて災害時における地域貢献の具体的な方策についても、並行して検討を進めることにしました。

そこで、非常用電源の増強に向けた検討を行うにあたり、自治体を交えて災害時における施設の運用方法について協議を実施しました。その結果、避難所の箇所数を増加したいという自治体意向を踏まえて、当施設2階ホール（麗花の間）を、災害時に避難所として宿泊者や地域住民に開放する計画としました。一方で、避難所の電源整備については、電源の多重化という観点から天然ガスを熱源とする停電対応型CGSを導入することにしました。

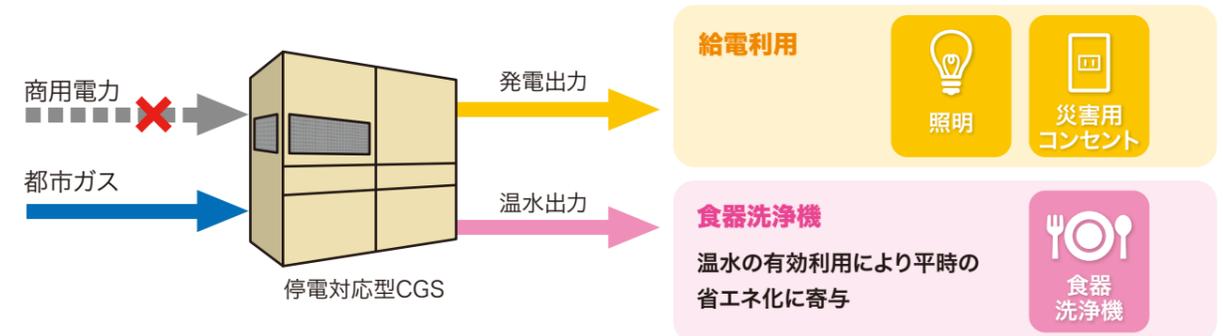
停電対応型CGSの導入にあたっては、コスト面におけるハードルの問題がありましたが、当補助金を活用させていただいたことで、当事業の実施に踏み切ることができました。

今回の事業により停電対応型機設備を導入したことで、自治体様より避難所における環境整備が図られたことに対して評価いただくとともに、当施設としても、災害時における電源多重化によりBCP対策を一層強化することができたことから、宿泊利用者のみならず、地域住民の方々にも安心してご利用いただけるものと考えています。

災害時にも貢献するエネルギーシステム

停電時 ✓ 宿泊利用者や地域住民が避難するスペースに必要な電力を給電

平時 ✓ 電力は1Fの一般系統、排熱(温水)は厨房内の食器洗浄機でそれぞれ利用



災害時における施設の機能



2F避難スペース(麗花の間)

約60名程度を収容できる2F避難スペースを宿泊利用者や地域住民に対し、可能な範囲で開放

停電対応型CGSで発電した電力によって照明やコンセントを継続利用することが可能

状況に応じて、災害用コンセントにストーブ等を接続し、避難所の生活環境向上を図る

避難所で使用できる主な設備



LED照明×9ヶ所



災害用コンセント×2口2ヶ所

事業者様の取り組み

パレブラン高志会館が位置する富山市では、事業所の組織力や技術力などの特徴を活かし、事業所も地域の一員としてボランティア的に防災活動に協力することを目的とする「富山市災害時等協力事業所登録制度」を設けており、当施設は非常用電源を整備することを契機に当制度に登録。(令和2年5月)

災害時には、2F避難スペース(麗花の間)内に避難者の受け入れが可能であり、今回導入した停電対応型CGSの給電で、LED照明や災害用コンセントが継続使用できる他、既存の非常用発電機の電力でトイレ、洗面が使用できる。また、可能な範囲で空いている客室に避難者を受け入れることも検討している。